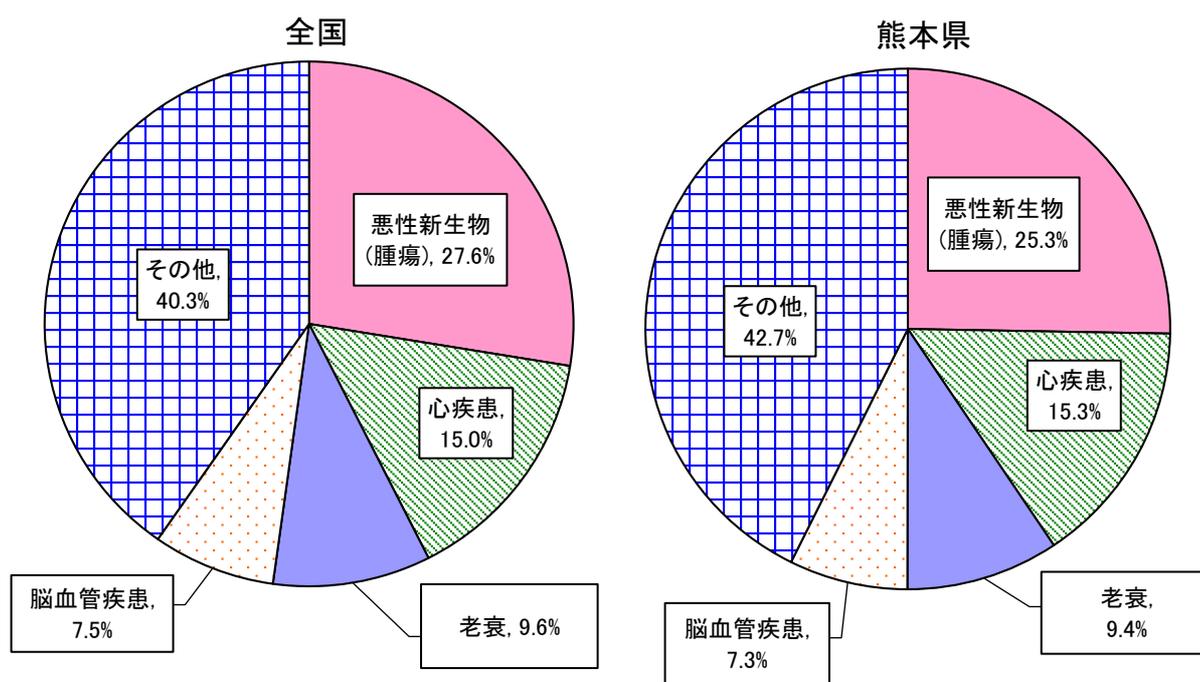


## 死因別死亡者数構成比（令和2年）



### 解 説

#### 【概要】

令和2年の県内死亡者は21,156人であった。死因別に内訳をみると、もっとも多いのが悪性新生物（腫瘍）の5,349人、次いで心疾患の3,242人、老衰の1,993人、脳血管疾患の1,547と続いており、死因上位の4つで全体の57.3%を占めた。

#### ○死亡者数

1月から12月の1年間に届けられた死亡者数。

#### ○呼吸器系の疾患

インフルエンザ、肺炎、急性気管支炎、喘息などが含まれる。

#### ○心疾患

心不全、急性心筋梗塞、高血圧性心疾患などをいうが、ここでは高血圧性心疾患は含めていない。

資料出所	調査期日	調査周期
「人口動態調査」 厚生労働省	令和2年	毎年